

Aikou

2024 年 1 月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「一人ひとりの存在が尊く」

チャプレン 山田 和人

ゆり組とたんぽぽ組のお友達で演じたクリスマス・ページェント。たんぽぽ組とすみれ組のお友達で演じた表現あそび。どちらも、子ども達の豊かな表情と演技に釘づけになりました。可愛いマリアさんと真面目なヨセフさんのやり取りを見ながら、2000 年前の聖誕の出来事に想いを馳せました。天使の歌声にはガブリエルの実像を、羊飼いは、夜通し羊の群れの番をしている当時の様子を思い浮かべました。可愛い羊さんの姿を見て、目を細めたのは私だけではなかったでしょう。また、いかにも占星術の学者っぽい3人の博士は、うやうやしい感じが良く表現できていましたね。宿屋の主人のお馴染みのセリフには懐かしさを感じ、輝く星を演じた一人二役の子の演じ分けには感心しました。思い出に残る素敵なページェントをありがとう！

普段の遊びそのままに、猫になりきり、お話を作ってくれた5人のお友達。遊びの中での表現を通して、心を耕しているんだと、一人ひとりの自分らしさを充分に感じることができました。とても楽しかったです。小さな友人と一緒に迎えた今年のクリスマス会のひと時が、私にとっては一番素敵なクリスマスプレゼントでした。

「おめでとう！」

園長 富樫 立子

愛実先生の赤ちゃんが産まれました。12月21日の午後10時頃 2630グラムの元気な赤ちゃんです。以前、子どもたちが名前を考えた時がありました。「ゆきんこちゃん」「りんごちゃん」など各々たくさん意見を出してくれました。子どもたちの意見も取り入れたいし、自分の思いも入れたいと愛実先生もとても悩んだそうです。が、「六花(りっか)」ちゃんに決まりました。六花とは雪の結晶を表す言葉だそうです。「自分らしくいろんな花が咲きますように」という思いが込められているそうです。

子どもたちもりっかちゃん誕生のお知らせに、「かわいい」ととろけるような優しい顔で写真を見つめて喜んでいました。どんどんお腹が大きくなるのを見てただけに、喜びも大きい様子でした。名前についても「どういう意味？」と興味を示しました。「みんなも神様からいただいている力をいっぱい使って大きくなっているでしょ。たくさんの力をいっぱい使って素敵な子どもになってほしいなって…」と話すとうん、うんと頷いていました。

ページェントを経験した子どもたちが、新たな命の誕生を喜び、神様のお力を感じている姿に子どもたちの心がとても大きくなっていると感じ心が温まり、新しい年に光が見えたようでした。

クリスマスを終えて、3 学期を迎えて

すみれ組

すみれ組のクリスマス会のメインは『おおきなプレゼント』の表現遊び。日頃からの遊びの延長上なので、楽しんで行う事が出来ました。お家の方が沢山見てくださっているのです、緊張してしまうのでは？と、こちらの方がドキドキしましたが、本番も楽しんで行っていたので嬉しかったです。猫の姿や『にゃーん』の声、とってもかわいかったですね♪

私自身が、日頃の遊びをそのまま舞台に持って行き、見てもらう為の表現に繋げることの難しさを少し感じる事が出来ました。また、その楽しさと大切さを改めて思えたことに感謝でした。

クリスマス会後は、ページェントごっこに参加しました。練習の時に見せてもらっていた、ページェント、今回は、ごっこなのに、ゆり組さんたち以上に緊張していて、すみれの子ども達もページェントは神聖なことと感じていたんだなと、小さいながらにすごいなと思いました。

2人のすみれ組ですが、お互いを感じ意識しながら過ごし、共有して遊びを楽しむ姿が増えてきました。その姿を大切にしつつ、3学期も楽しく過ごしたいと思います。

宮崎 詩世

たんぽぽ組

クリスマス会ではページェントに挑戦し、ドキドキしながらもお手伝いすることができました。初めてページェントに触れる子もいたため、始めは訳も分からない表情でいましたが、ゆり組のお友だちの真剣なまなざしを見て、自分たちも神様のお仕事をお手伝いすることの大切さを感じていた様子でした。クリスマス会後のページェントごっこでは、憧れの天使や博士、マリアなどの役になって楽しんでいました。その時、歌やセリフをいつ覚えたのか？と不思議に思うほど、しっかり覚えていて驚きました。ページェントに参加した経験がきっと年長さんになった時に活かされることでしょう。

ネコちゃんの表現もとてもかわいかったですね。本当にあそびのままだったので、保護者の皆様にはずっとお尻を向けたままだったので申し訳ありません。声も届かなかったとは思いますが、お友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと思えるほど大きくなったことは感じていただけたでしょうか？3学期もお友達と一緒に遊びを楽しめる経験を豊かに過ごしていきたいです。

富樫 立子

あそびの中から

ゆり組の子どもたちが朝の自由遊びで、「アスレチックをしよう！」とソフトフォーミング（カラーのソフト積木）を一行に並べてあそび始めました。四角と四角の間に三角や半丸が複雑に並び、難しめのコースが出来上がりました。早速 A ちゃんがこのコースを挑戦するとバランスを崩してコースアウトしました。「さんかくばかりあるから、さんかくをかたづけようよ」とみんなに声を掛けました。すると B ちゃんが「さんかくがたくさんあってむずかしいからおもしろいんだよ」と答えました。さて、どうするのかな・・・？様子を見ています。

「しかくからしかくへジャンプすればいいんじゃない？」と C ちゃんが違った意見を出しました。確かに、ゆり組の子どもたちならジャンプができそうです。子どもたちもその意見を受け入れてジャンプする子もいれば、難しいコースをチャレンジする子など各々楽しんでいました。バランスを崩してコースアウトしても、「また最初から！」を繰り返す姿もありました。自分の思いを伝え、友だちの思いを受け止めながら工夫して遊びを創っていくところが、ゆり組さんらしさを感じました。

櫻井 真澄

ゆり組

本番に強い！！ゆり組の子どもたち。クリスマス会の前日まで、“大きな声が出る？”“セリフは覚えている？”と心配をしましたが、緊張した表情を見せながらも一人ひとりが自信をもってページェントを演じてくれました。セリフも二つの役を覚えなくてはいけないので、子どもたちも不安があったと思います。もちろん担任も不安でしたが、イエスさまのお誕生をみんなでお祝いすることが出来ました。やりきったあとの子どもたちはホッとした表情を見せていました。トーンチャイムは、緊張の糸が切れてしまったのかもしれない。でも、その姿もゆり組らしさが出ていたと思います（笑）

いよいよ子どもたちにとって最後の 3 か月。幼稚園に登園する日を数えると…あっという間に卒園式を迎えるような気がします。子どもたちと相談しながらチャレンジできることを楽しんでいこうと思います。（ちなみに、例として…幼稚園全部を使って、お家の方と一緒に“かくれんぼ”をしたいようです！20日の参観で出来るといいな～と考えています。）同時に小学校へ行く準備も少しずつ始めていきますよ～。みんなで楽しい3学期にしましょうね。

氣谷 彩子

